

公立大学法人公立諏訪東京理科大学中期目標（草案）に対する意見要旨

【第4回公立大学設立準備委員会（7月4日開催）での意見】

- ・設立団体としての意思をはっきりと明確に示すために、中期目標の項目立て、言葉遣い、順番、カテゴライズの仕方について、国立大学法人と違うものがあった方が良いのではないか。例えば、「諏訪地域」という言葉を記載するなど、もう少し諏訪広域圏が作る新しい地元志向の大学としてふさわしい内容となるよう検討が必要。
- ・中期目標(草案)の基本目標は、まずは教育に関することをしっかりやる、次に産学連携や地域連携を行う、最後に基盤をしっかり固める、ということで記載されているが、そのこととその後の中期目標の項目立てが連動していないと思う。基本目標をこのように3本立てで記載しているのであれば、中期目標の分け方もこの3本立てに即してカテゴライズすることが必要。法人の設立団体が作成する中期目標なので、そこである程度の方向性を与えていかなければならない。
- ・来年新しい大学として開学し、その後は数ある公立大学の中で生き残りをかけて、あるいは私学にも打ち勝っていかなければならないという中で、特色を出していくということが非常に重要。保護者から見たときにも、この大学は就職率が良い、この〇〇学科が特色だ、ここへ行くともとても国際交流が盛んだというように、外から見た特色というのはあるので、何らかのことを表現していくことが必要。
- ・国立大学では「質の向上」ということについてかなり厳格に考えていて、大学評価・学位授与機構の方で6年毎に上位20%の教員の論文を全て取り寄せ、実際に研究水準がどれだけ上がったかということを確認する、というような意味合いでこの言葉を使っている。そういったことと並べて考えると、今回の中期目標中の「教育研究の質の向上」という書き方が、評価委員会の構成とも関係してくるが、そこまでのことは想定されていないと思う。
- ・国内の大学において、研究倫理の問題が議論されている。研究倫理には、研究費の不正に関することと、論文の不正に関することがあるが、そのあたりについても中期目標で触れておき、しっかりやっていくということ記載した方が良い。

《事務局の回答》

- ・諏訪東京理科大学としての特徴を出していかなければならないと思うので、そういったことも併せて、中期目標にもう少し書き込んでいく必要はあると思っている。そして、中期計画ではより詳細な部分や特色の部分を表していくということになる。
- ・諏訪東京理科大学に対する地域の期待がこの中期目標に込められていなければならないと思う。もっと特色が出るような中期目標になるように練っていきたいと思うのでよろしくお願いしたい。

【第16回諏訪東京理科大学公立化等検討協議会（7月13日開催）での意見】

- ・中期目標は大枠であり、詳細に書き込みすぎるものではないと思うが、公立大学設立準備委員会委員の意見にもあるように、ある程度は具体化していく必要があるので、バランスは考えていくことが必要。
- ・公立大学ということ意識しすぎて地域志向が強すぎるのではないかという印象である。しかし、入学料設定の検討の中で、学生の出身地域によって差を設けないという意見が多くあったように、地域に貢献をしてもらいたいということはあるが、一方で、世界から人材を集めて世界に送り出す、といったダイナミックな部分も欲しい。
- ・「研究を通して地域産業と文化の振興に取り組み、人を地域に集め、地方創生の拠点となる。」という表現について、例えば、逆の見方をして、「地域の産業や文化を積極的に取り込んで、世界で通用する人材を育成する。」といったような表現に変えることによって、同じことを言うとしても魅力的に見えるのではないか。
- ・都会の大学も学生確保に力を入れて取り組んでいる。それと比較し、この地方の大学がこの地域で頑張っていこうとするのであれば、例えば、八ヶ岳の裾野の雄大な自然の中で学生の人間性を育むといったような、都会に無い優位性のようなものを前面に打ち出していけば良いと思う。八ヶ岳で登山をしたり、諏訪湖でボートを漕いだり、そういう経験の中で人間性を養い、雄大な自然の中でダイナミックな人材を育てる、といったような表現があると少し魅力的な大学に見えてくるような気がする。せっかく新しい地方の大学として開学していくので、少し風呂敷を広げ、そういった表現があっても良いのではないか。
- ・「主体性の確立した」という表現について、人間はいつまでも成長していくと思うので、「主体性のある」というように、もう少し未来にも余地を残した表現の方が良いかと思う。また、「人材を育成し、地域に送り出す」という表現になっているが、地域ももちろんそうであるが、諏訪東京理科大学を卒業した学生が日本や世界で活躍することも良いことであるので、小さくコンパクトにならない表現を期待したい。
- ・6年間の中期目標であるが、さらに将来を見据えたものを描いていただけると有難い。
- ・国際化について、この諏訪地域の企業もほとんどが海外と取引をしており、また、海外の工場を持っている。観光面でも海外からのインバウンドなどがあり、この国際化あるいは人の交流というのは加速度的に増えていくと感じる。それも踏まえて、国際人にも物怖じしないような人たちを育てていくことが重要。